



北九州市立田原中学校
 道徳通信 No. 2
 2014年7月14日

「道徳の時間は…」？

『「道徳の時間」の勉強は好きである』『「道徳の時間」の勉強はためになると思う』etc・・・先月下旬、全校生徒の皆さんに道徳に関するアンケートに答えてもらいました。上記のような質問を含んだ27の問いに答えてくれました。今回は3年生のアンケート結果を紹介します。

《アンケート結果からわかること》

「道徳の時間は好きである」という質問について「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた3年生は135名おり、類似の質問について肯定的評価をしている3年生は約80%もいることがわかりました。「道徳って難しい」という言葉を聞くこともあります、やはり多くの方が「道徳の時間」は大切だと考えてくれているようです。

またその中でも特に「生命尊重」に関すること「人とのかわり・規範意識（きまりを守る）ことの大切さ」「善悪の判断」に関することについてはとくに高い意識をもち、その大切さを感じているようです。それぞれの心の中にrippana「道徳心」が育っていることを嬉しく思います。それが日々の言動に現れることがいちばん望ましいのですが、まずは一人一人が、

それぞれの心の中に、あたたかい「道徳心」を育ててくれることが一番です。

もう一つ、アンケートの結果で気になることは、ほかの項目に比べ、比較的「地域や社会への興味・関心」に対する肯定的評価が60%と低いことです。自分も地域社会の一員だという自覚をもち、少し周りに目を向けてみませんか？みなさんが気付かなかったところで、この田原中学校区の住民が気持ちよく生活できるようにと、ボランティア活動や、地域のイベント企画などに奔走（走り回る）してくれている人がいることに気づくことができるはず。2学期には土曜授業で「地域清掃」を行う予定です。「地域住民として自分にできることは・・・？」という、いつもとちょっと違う視点で、見慣れた景色を見直してみませんか？

「HERO」が文部科学省「道徳教育」とタイアップ！



こんなニュースがありました

道徳教育に関する理解・普及を図るため、文部科学省とドラマ『HERO』のタイアップが決定しました。久利生公平(木村拓哉)は誰に対しても公平な態度で接し、自らの信念に基づいて行動、事実を追求していきます。その姿は「人としてどうあるべきか？自分はどう生きるべきか？」という道徳教育の根源的なテーマと共通するものがある、ということで文部科学省が推進する「道徳教育」とのタイアップが実現した。

フジテレビドラマ「HERO」ホームページより



「時代は変わる！君たちはどうする？」というテーマを提示したタイアップバージョンポスターが全国の小・中・高校合計40,000校のもとへ配布されるそうです。(田原中にも届くでしょうか?)この夏は『HERO』をみながら「正義ってなんだ?」「真実ってなんだ?」とみんなで考えてみるのもいいかもしれませんね。